



いつまでも自身を磨き続ける人生 そのお手伝いをさせていただける幸せ者の目から



たつの市に住むKさんは今年米寿のお祝いをしたばかりの88歳男性。以前は小さな町にある唯一の診療所で医師として勤めていた。半生をこの町に捧げたと言っても過言ではないだろう。この町に住む人のほとんどが、病気になればKさんに診てもらった。

退職後は隠居してのんびり、という暮らしを選ばれてはいないKさん。興味の対象も広く、様々なジャンルの講演会や研究会に出席するなどして勉強を続けた。また地元のライオンズクラブの活動でも精力的に動き回った。地域に貢献するという意欲が衰えるようなことはなかった。

そんなKさんの生活に突然、大きな変化が訪れた。くも膜下出血で倒れ、その手術後は杖を使って歩くようになった。が、それでもKさんの外出機会は減ることはな

かった。周囲の心配をよそに杖歩行で歩き回った。転倒を心配し始めた奥様からしゃらくにお電話をいただいたのは、術後しばらく経ってからのことだった。以来、ヘルパーの同行を伴う形で3ヶ月に1度ぐらいのペースでお出かけを続けている。

地元ライオンズクラブの親睦旅行

地元ライオンズクラブの親睦旅行に参加。行き先はマカオ。約4時間半という飛行時間を心配する方もいらっしゃいましたが、準備がしっかりできたこともあり、機内で大きな問題は起こりませんでした。現地での観光はタクシーを利用。世界遺産の一つ、セナド広場や聖ポール天主堂跡、媽閣廟などをまわったほか、街中を車いすで動き回りました。驚いたのは街の人たちの車いすの人に対する対応のすばらしさ。





タクシーを降りる際には「何か手伝いましょうか?」と声をかけてくれたり、横断歩道を渡ろうとする際には私たちが横断するだいぶ前からしっかり停車して待ってくれたりしていました。これにはKさんも感心することしきりでした。

最終日、最後の食事は李康記飯店でメンバー全員とお食事。おいしい中華料理を食べながらみんなでわいわい楽しく過ごしました。Kさんの現役時代、町のみんながKさんのお世話になったことや、穏やかで紳士的なふるまいで今でもみんなから慕われていることなどを聴かせていただき、私までうれしい気持ちになりました。今回は今までで最も遠い場所でしたが、Kさんも終始お元気で本当に楽しい旅行でした。

大阪での同窓会

この日はKさんの旧制中学の同窓会に大阪までご一緒しました。ご自宅から最寄りの駅までタクシー、その後電車で梅田まで。駅から会場のホテルまでは再びタクシーを利用しました。集まったのは今年88歳になる方々20名ほど。とてもそうは思えないほどお元気な方ばかりでした。Kさんも久しぶりの再会に頼も緩みっぱなし。旧友との再会で小さい頃の様々な記憶が蘇ってきたようで、帰りの電車の中では昔話をたっぷり聴かせていただきました。



エスコートヘルパー 須貝 静



行程

- 1日目
 - ご自宅を出発
 - 関西国際空港到着
 - マカオ国際空港到着
 - ホテル到着、宿泊
- 2日目
 - ホテル出発
 - マカオ市内観光
 - 李康記飯店で夕食
 - ホテル宿泊
- 3日目
 - ホテル出発
 - マカオ国際空港到着
 - 関西国際空港到着
 - ご自宅にご到着

メモ

